

## 【2021年度9条カレンダーのご案内】

キッチン、居間、こども部屋等家族の目につきやすいところに下げて、毎日9条の訴えを。

### ●代金・支払方法

①一般価格1200円＋税のところ、県内九条の会事務局のみなさまには九条の会価格1200円(税込)にて販売します。

②冊数が多い、事務所で受取りの場合はさらに値引きします。

③カレンダー送付時に振込用紙を同封します。郵便局にて振込をお願いします。

### ●申込

申込×切：在庫なくなり次第終了します

申込先：みやぎ憲法九条の会（仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F）

申込方法：九条の会名（氏名）、住所、電話番号、申し込み冊数、受取方法（ゆうメールまたは事務局で受取のいずれか）をご記入の上、FAXかEメールでお申し込みください。

FAX:022-276-5160 Email : info@9jou.jp



### 緊急署名(11/26 現在)

宮城県内9条の会連絡会：3,556筆 他団体：3,230筆

合計 緊急署名推進センターの集約：6,786筆

\*「総がかり行動実行委員会」では11月19日国会要請を行い、緊急署名を提出しました。中央集約日の11月10日に合わせ、緊急署名推進センターみやぎでは11月9日この間の集約分697筆を送付しました。

\* なお、この署名は引き続き継続されます。「改憲発議に反対する全国緊急署名用紙」新しくなっています。地域の九条の会で配付希望されるところはみやぎ憲法九条の会事務局に必要枚数をお申込みください。申し込みされたところには宅急便でお送りします。

\* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしく願いいたします。（「憲法共同センター」よりの連絡 再）



## 12月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

- 仙台市：12月19日（土）12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前
- 石巻市：12月19日（土）15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：12月19日（土）13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：12月19日（土）13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：12月19日（土）11:00～11:30 場所：クボ店前

## 宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間：12時から13時まで。

実施日：12月1日、8日、22日（15日はお休み）、1月12日、19日、26日

## 12月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。

- 名取市 ヤマザワ前道路交差点
- 涌谷町 涌谷公民館前交差点
- 宮城野区 坂下交差点

## 【これからの県内催事情報】

2020年度「平和と民主主義を学ぶ旅」学習会

「布施辰治の足跡から学ぶ」～石巻出身で人権を擁護し続けた弁護士の生涯～

「生きべくんば民衆とともに、死すべくんば民衆のために」（顕彰碑碑文）

石巻市旧蛇田村出身の弁護士、布施辰治（1880～1953年）の言葉が碑文に刻まれています。布施が弁護に当たったのは、米騒動、労働争議、小作争議、入会権争議、大逆事件や独立運動を行った朝鮮と台湾の人々、社会主義者などで、弁護士資格を奪われ、治安維持法違反などで2度の投獄に遭いながらも彼らに寄り添い続けました。

戦後は、三鷹事件、松川事件などの弁護にあたり、韓国政府からは、国家の独立と発展に貢献したとして「建国勲章」を授与されました。

日本近現代史の人権弾圧と植民地支配の歴史を振り返りながら、政府の圧力に抗して、民衆を法律で擁護した足跡から平和について学びます。

映画： 「弁護士 布施辰治」（2012年公開、98分、ドキュメンタリー）

お話： 三條信幸さん（布施辰治顕彰会事務局長）

日時： 12月5日（土） 13：00～15：00 参加費無料

会場： 泉区加茂市民センター研修室（仙台市泉区加茂4-2）

\* 感染症のため現地訪問の「旅」を中止して学習会を開きます。

\* ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。

主催： 泉病院友の会平和の委員会

連絡先： 泉病院友の会 378-3883

戦争を語りつぐ上映会（12月）

「果てなき殲滅戦（せんめつせん）」～知られざる日本本土上陸作戦～

75年前、九州南部は無残な殺戮の戦場となろうとしていた。1945年夏、沖縄戦後アメリカ軍は「オリンピック作戦」と呼ばれる九州南部への上陸作戦計画を進めていた。米陸軍参謀総長ジョージ・マーシャルの肉声テープには、「アメリカ軍は9個の原爆を準備していて、九州南部（鹿児島）への上陸作戦に間に合うはずだった。この作戦が実現していたら、恐るべき事態になっていただろう」との発言が残されている。

兵力は米軍史上最大規模の76万。何故空前の作戦が進められるに至ったのか。作戦の舞台裏を追跡、すると驚愕の作戦が次々と遂行されようとしていたことが明らかに。

（2020年放送、48分）

#### ■同時上映「ノモンハン 責任なき戦い」

81年前、モンゴル東部の大草原で、日ソ両軍が激戦を繰り広げたノモンハン事件。ソ連軍が大量投入した近代兵器を前に、日本は2万人に及ぶ死傷者を出した。

この戦争は、情報を軽視した楽観的な見通しや、物量より優先される精神主義など、太平洋戦争でも繰り返される“失敗の本質”が凝縮されていた。しかし軍は、現場の将校には自決を強要した一方で、作戦を主導した関東軍のエリート参謀たちはその後復帰させ、同じ失敗を重ねていった。

ソ連軍の記録映像を着色し、戦場の実態を現代によみがえらせる。さらに軍の判断の経緯が証言された、陸軍幹部の肉声テープから敗北はどのようにして隠され、失敗は繰り返されたのか。映像と証言から迫る。（2018年、73分）

◇日時：12月10（木）13：00～15：00（参加費：無料）

◇会場：泉病院友の会ホール（仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1）

◇主催：泉病院友の会平和の委員会

◇申込先：泉病院友の会378-3883 定員10名（要事前申込）

\* ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。

## 【九条の会等の活動報告】

### 国見九条の会

#### 菅首相宛てに抗議文送付を確認

国見九条の会では世話人一同の声明で「日本学術会議会員任命拒否に抗議し、その撤回を求めます」という声明を確認し、12月4日付で菅首相に送付することを確認しました。全文は12月15日発行の次号Eメールニュースで紹介します。

### 宮城県内9条の会連絡会学習会

#### 敵基地攻撃力って何？

11月21日（土）宮城県内九条の会連絡会では、宮城県平和委員会常任理事の本田勝利さんを講師に『「敵基地攻撃能力」ってなに？』の学習会を仙台市シルバーセンターにて開き19名が参加しました。講師より詳しいレジメが配布され、敵基地攻撃論が出て来た歴史的経過を1956年から振り返り、アメリカが日本を盾として本国を守ろうとしている段階から、日本を矛として海外の国に先制攻撃を仕掛けさせようとしている段階、そしてこれを公言することで日本国民に納得させようとしている段階に来ていることを様々な軍事的、政治的事実に基づいて説明されました。これは憲法9条にも国際法にも背くものであり、核兵器禁止条約の批准を政府に求めるとともに、敵基地攻撃能力の保有をやめさせる運動を強化していきましょうと話されました。（連絡会運営委員・白砂英男（国見九条の会）記）



### 鶴ヶ谷地域九条の会憲法 Cafe

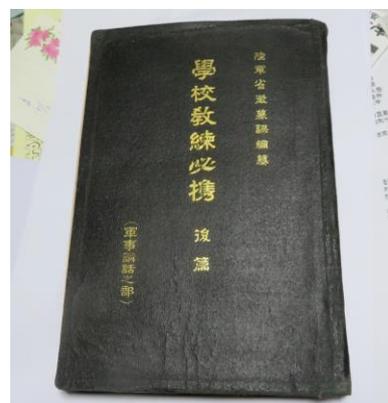
#### 太平洋戦争直前と最近の世相～昭和13～14年の日記から～

鶴ヶ谷地域九条の会では11月28日（土）、鶴ヶ谷市民センターにて「太平洋戦争直前と最近の世相～昭和13～14年の日記から～」と題して憲法Cafeを開催しまし



た。コロナ拡大が心配される中、100人定員の会場に話題提供者も含めて29人が集合。参加者全員の体温測定(赤外線センサー)をし、席も口の字ではなく、寺子屋方式にするなど、感染防止の対策をとりながらの実施でした。Caféと銘打ちましたが、飲食はなしという配慮をしながらおこないました。

話題は当会賛同者の千田卓内さんがコロナ禍生活の中で宮内さんの遺品整理をして発見した昭和13年～14年にかけての日記の記載内容の紹介。当時の身の回りに起きた、日々のできごとが記されているが、今の世相とどこか似ているそうです。



お父さんの宮内さんは仙台の工業専門学校を卒業後、満鉄に入社、2年ほど「旧満州国」の各地で技術者として働き、身体を壊して帰省、2年ほど内地にて静養されますが、日記はその間のことが記載されています。彼の学生時代、京大滝川事件(昭和8)、美濃部天皇機関説事件(昭和10)があり、満州から帰ってきた昭和13年は近衛内閣が国家総動員法を制定して後の太平洋戦争に至る国民精神と戦争遂行体制を整えた年でもあった。

参加者に紹介された資料は日記「隋感録」の他、母さんが妹さんを妊娠中に発行された「妊産婦手帳」、「陸軍省徴募課編纂 学校教練必携後篇 (軍事講話之部)」、当時の地図「大東亜戦争放送ニュース徴收用地図」「大満州国地図」「大東亜共栄圏並びにその付近地図」「大戦下の最新世界地図」の4枚など生々しい状況が浮かび上がりました。

日記「隋感録」昭和14年2月7日の記載:最近、日本精神なる語がむやみに用いられる。大臣の訓示に、或いは県吏員の講演に、あるいは血気盛んな少壮論客に、またまた衣服、食品の名称にまで用いられるようになった。その無思慮な用い方はちょうど法然上人のナムアマダブツにも匹敵する現象を呈している。中略、『日本精神』なる熟語は、軍人・政治家・学者、等によって唱えだされたものである。いずれも始めは学者的素質を有する人々により言われた。後略。

「妊産婦手帳」は昭和18年11月に岩手県より卓内さんのお母さんに交付されたもので、そこには「出産用ガーゼ購入券、嬰兒用石鹼、牛乳購入券交付」などの記載と共に「母乳不足のためミルク、砂糖を生育上必要なるものと認む」などの記載がありました。「学校教練必携」は宮内さんが体調を回復されてから郷里の「黒沢尻工業」の教員となったのでそこでの軍事教練用として入手されていたのではないかと参加者からの指摘もありました。

話題提供者の千田卓内さんは菅義偉首相の学術会議会員6人の任命拒否、学問の自由を否定するという動きを見るにつけ、「平和のうちに歩んできた私たちは、いつの間にか昭和初期の太平洋戦争へと突き進んでいった時代のような道を歩んでいるのではないかと

父の日記を読んでそんな思いに駆られるのはなぜでしょうか。戦前、科学者をはじめとする人材、資材が戦争を進めるために総動員された歴史が思い起こされるからです。」と指摘しました。戦後、戦後と言っているうちにいつの間にか「戦前」と同じような事態にならないようにと願って話題提供されました。(鶴ヶ谷地域九条の会 篠原記)